

ビジネスと知的資産・知財法研究分科会セッション

◆ オープンイノベーション白書から考えるイノベーションの過去・現在・未来 ◆

【講演者】

<プレゼンター>

オープンイノベーション白書第 3 版作成ご関係者

<モデレーター>

[小野 曜] 転石知財事務所：弁理士

<パネラー>

経済産業省 官民若手イノベーション論 ELPIS

[杉山 実優] (株)リクルート 官民若手イノベーション論 ELPIS 発起人

[宇井 吉美] 株式会社 aba 代表取締役 CEO ELPIS メンバー

[富田 信雄] 弁護士、大阪大学特任准教授、立命館大学客員教授 ELPIS メンバー

[三原 雄一] 富士通株式会社 Strategic Growth & Investments 室 ELPIS メンバー

【概要】

バブル経済崩壊後、低迷する日本経済、少子高齢化する社会や IT の革新が生む産業構造の変化に対し、様々なイノベーション政策が講じられ、企業も変革を模索してきた。しかし日本経済は低迷を続け、イノベーションも不十分だとの指摘がある（『オープンイノベーション白書第 3 版（以下 OI 白書）』2020 年など）。『OI 白書』ではイノベーションは、①グローバルに②生活様式あるいは産業構造に③変化をもたらすことと定義されている。GAF A はまさに①～③を満たす新事業を創造し急激に巨大化したベンチャーであり、GAF A を生んだ米国やそれを追う中国に比べれば、日本では①～③を満たす新事業・ベンチャーの創出は少ない。

そこで本セッションではプレゼンターから『OI 白書』の内容、特にその課題意識を紹介、その後、パネルディスカッションを行う。

パネルディスカッションでは、オープンイノベーションに関し、『OI 白書』以外にどのような課題の指摘があるかを明らかにする。特に、現場レベルでどのような課題があると認識されているのか、それら課題に対し、どのような対応がされているかについて議論を深めることとし経済産業省で行われた有識者会議をきっかけに立ち上げられた、官民の若手によるイノベーションについての議論、政策提言プラットフォーム「ELPIS」のメンバーとの議論を行う。

ELPIS について：https://www.meti.go.jp/policy/economy/gi_jutsu_kakushin/elpis/

オープンイノベーション白書第 3 版と登壇者について

経済産業省がイノベーションに関する課題の整理等の必要性を認識していることを背景として、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が作成。2020 年 5 月に経産省と NEDO とが同時に白書の公開をリリース。本分科会セッションが日曜開催であり、白書作成担当者が登壇できない場合、当分科会メンバーが事前に白書作成担当者を行う情報交換の内容を紹介する。

ビジネスと知的資産・知財法研究分科会セッション

◆ オープンイノベーション白書から考えるイノベーションの過去・現在・未来 ◆

【略歴】

小野 曜／弁理士 転石知財事務所

1998年栗田工業(株)入社、研究開発部門で特許業務担当。正林国際特許商標事務所、高橋雄一郎法律事務所、(株)野村総合研究所を経て2015年転石知財事務所設立。2020年より京都大学発ベンチャーSunlit Seedlings(株)CEO。対外活動として東京大学先端科学技術センター特任研究員、弁理士会研修所運営委員など。

杉山 実優／官民若手イノベーション論 ELPIIS 発起人

2017年(株)リクルートキャリア入社。新卒採用、人事(コーポレート・新規事業部署等)を担当した後、2019年より2年間、経済産業省出向。科学技術イノベーション政策を担当する部署で、産学連携における人材施策を担当。産官学の若手コミュニティ「官民若手イノベーション論 ELPIIS」を設立、若手の価値観の変化や2050年の未来像を議論・公表。経産省における初めての若手版審議会「若手ワーキンググループ」事務局。2050年カーボンニュートラルを若手で検討する「グリーン成長に関する若手ワーキンググループ」事務局。2021年(株)リクルート帰任。

宇井 吉美／株式会社aba 代表取締役 CEO

2011年、千葉工業大学未来ロボティクス学科在学中に株式会社abaを設立。

中学時代に祖母が病気になり介護者となった経験から「介護者側の負担を減らしたい」と思い、介護者を支えるためのロボット開発の道に進む。介護現場の現場体験から、においセンサーで排泄を検知する「排泄センサーHelppad(ヘルプパッド)」を製品化など。

富田 信雄／弁護士、大阪大学特任准教授、立命館大学客員教授

1987年大阪生まれ。弁護士として、知的資産を活用した事業開発を中心に、企業シーズを問わず法務・知財面からの支援を行う。また、大学研究員として、産学連携・大学発ベンチャーを通じた研究成果の社会実装に向けた研究室支援体制構築の実証研究に従事。

三原雄一／富士通株式会社 Strategic Growth & Investments 室

大阪工業大学大学院知的財産研究科を修了後、富士通株式会社に入社。開放特許を起点とした地域の中小企業の新規事業創出、特許渉外業務、企業との資本業務提携及び合弁会社設立等のアライアンス業務など。2018年、経済産業省の起業家育成Pj「始動」シリコンバレー選抜。

以上